

2013年度

北陸学院大学公開講座

レデック
REDeCセミナー
地域教育開発センター

撮影：岡戸雅樹

連続公開講座 ～いのちの重さと輝き～

上野千鶴子 講演会

無料

■上野千鶴子 (うえの ちづこ) 氏 略歴

社会学者・立命館大学特別招聘教授・東京大学名誉教授

NPO法人ウィメンズアクションネットワーク (WAN) 理事長・日本学会協議会員

日時 11月23日 (土・祝) 14:00～15:30

会場 北陸学院大学

演題 「女はどこまで変わったか? 現代社会をジェンダーで見る」

1948年富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了、平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、国際日本文化研究センター客員助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院大学客員教授等を経る。1993年東京大学文学部助教授(社会学)、1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2011年4月からNPO法人ウィメンズアクションネットワーク (WAN) 理事長。

専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、指導的な理論家のひとり。近年は高齢者の介護問題に関わっている。

1994年『近代家族の成立と終焉』(岩波書店)でサントリー学芸賞を受賞。『上野千鶴子が文学を社会学する』(朝日新聞社)、『差異の政治学』『生き延びるための思想』(岩波書店)、『当事者主権』(中西正司と共著、岩波新書)、『ニーズ中心の福祉社会へ』(中西正司と共編、医学書院)『岩波シリーズ ケア その思想と実践』(共編著、全6巻、岩波書店)、『世代間連帯』(辻元清美と共著、岩波新書)、『家族を容れるハコ家族を超えるハコ』(平凡社)、『老いる準備』(学陽書房)、『おひとりさまの老後』『男おひとりさま道』(法研)、『ひとりの午後に』(NHK出版)、『女ざらい』(紀伊國屋書店)など著書多数。近刊に『女は後半からがおもしろい』(坂東眞理子と共著、潮出版)、『結婚帝国』(信田さよ子と共著、河出書房)、『不惑のフェミニズム』(岩波現代新書)『ケアの社会学』(太田出版)、鼎談『フェミニズムの時代を生きて』(岩波現代文庫)、『現代思想 総特集 上野千鶴子』(青土社)、DVDブック『生き延びるための思想』(講談社)、『ナショナリズムとジェンダー』(岩波現代文庫)、『生き延びるための思想』(岩波現代文庫)、『快樂上等』(幻冬舎)、『みんな「おひとりさま」』(青灯社)、最新刊に『上野千鶴子が聞く 小笠原先生、ひとりて家で死ぬますか?』(朝日新聞出版) 2012年度朝日賞受賞。

WANURL<http://wan.or.jp/>

■ 北陸学院大学会場へのアクセスマップ



◎受講料 無料

◎申込 なるべくFAXかメールにて「お名前」と「連絡先」を明記の上、お早めにお申し込みください。
 ※当日参加も可能です。定員になり次第、締切とさせていただきます。詳しくはホームページをご覧ください。

北陸学院大学 地域教育開発センター

FAX: 076-280-3851 メール: redec@hokurikugakuin.ac.jp

※記載頂いた個人情報は北陸学院大学、および地域教育開発センターからのお知らせ以外には使用しません。
 ※メールでお申し込みの場合は、本学からの返信を受けとることのできる設定をしてください。

